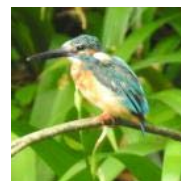


2019年7月 野鳥と自然観察会 報告



日 時	2019年7月21日(日) 10時から13時			代 表 遠藤ちか子 記録者 山根伸二
探 鳥 地	国民公園 京都御苑内			
参加人数	在校生18名	堀池顧問	総計19名	天候 曇り
観察コース	地下鉄丸太町駅集合—間ノ町口—宗像神社—コオロギの里—母と子の森			
観察概要	<p>間ノ町口を入った所すぐに、宗像神社がありました。すでに京都野鳥の会のメンバーや、カメラマンの人たちが大勢観察しており、アオバズク「上、写真左右」を確実に観ることが出来るぞと気分はハイに。スコープを設置しキレイに確認することができました。皆すでに大満足でした。次にもう1ヶ所コオロギの里奥にある巣箱に移動、「上、中央の写真巣箱」が設置されており観察しやすい処なのですが、今年は14日ごろに巣立ってしまい残念ながら確認できませんでした。近くのベンチで鳥合わせと昼食をとり解散しました。後、一部の人たちで、苑内の、閑院宮廷跡を見学したり、祇園祭のさなかでもあるので、鉾を見たりしました。</p> <p>【観察できた鳥】アオバズク、セグロセキレイ、ヤマガラ、シジュウカラ、スズメ、ハシボソカラス、カワラバト</p> <p>【認定外の鳥】閑院宮廷跡内にて、アオサギ、カワセミ</p>			
感想 (その他)	梅雨の真っ最中なので大雨を心配したが、曇りの天気の中、蒸し暑くはあったがまずまずの観鳥日であった。			
次回予定	8月3日(土) 山陽電鉄高砂駅、17時30分集合。数万羽単位の燕のねぐら入りを観察。 下見はありません。			



仙洞御所前にて、砂利の無い処が歩きやすいです。



銀杏の木。取り巻いた人たち以上に生きて来ました。立派です。